

令和6年度 園経営計画 足立区立伊興保育園

園長 沢井 範子

1 園の経営目標

- (1) 心身ともに健康で豊かな心情をもち、主体的に遊びや生活に取り組む子どもの育成をめざし、夢や希望を信じて生き抜く力の基礎を培う。
- (2) 保護者との信頼関係を大切にし、共に育て合い、子育ての喜びを感じられるようにする。
- (3) 地域との関わりを大切にし、地域の子育て支援の拠点園としての役割を担う。

2 園の現状

朝から子どもたちは園庭に出て、固定遊具の他、様々な遊びができるように用意した遊具や水、砂、土などの自然物の中で好きなものを選んで遊んでいる。樹木や草花のある場所では、花や種に触れたり、そこに生息する虫探しをしたりして夢中で遊ぶ姿がある。保育者は、子どもがわくわくするような環境構成を工夫して、主体的に遊ぶ姿に寄り添っている。そして子どもと保育者、子どもと子どもが日々の関わりの中で、互いに学び合い尊重し合う関係性を大切にしている。

保護者と保育者は子どもの姿を文章や映像で伝え合ったり、顔を合わせて対話したりしながら共有し、大人も子どもも共に育ち合うことを目指している。

3 今年度の重点的項目

重点的に取り組んでいきたい事項-1	主体的に環境にかかわり、夢中になって遊ぶ子どもを育てる。
具体的な取り組み	
項目	具体的な内容
(1) 体を動かす楽しさや心地よさを感じて安全に遊べる環境を整える。	ア 子どもがわくわくして思わず遊びたくなる園庭の環境を安全性の視点を入れて整える（年4回の再構成）。 イ 園舎内の環境の見直しを行う（廊下の活用、壁面構成）。
(2) 自然環境を整備し、季節を感じたり生き物に触れたりする。	ア 水、砂、土など自然物を使った遊びのための環境構成と、草花、実、種などを用いた遊び環境を豊かにする。 イ タイヤ広場の改造を行い、新たに「虫広場」としての位置づけを付加し、年間を通じて整備していく。
重点的に取り組んでいきたい事項-2	子どもと保育者、子どもと子どもが互いに尊重し合う心を育む。
具体的な取り組み	
項目	具体的な内容
(1) 子どもの声、声にならない思いを受け止め、子どもが安心して自分を表現できる保育を実践する。	園全体で「子どもの先回りをしてはいけない」「待つこと」の大切さを共通理解して保育に活かしていく（会計年度任用職員会議、事例検討を年4回）。
(2) 職員の人権意識の向上とインクルーシブ保育の理解を高める。	職員間で互いの保育を見合って振り返るとともに、日頃から子どもの姿を語り合うことで職員の人権意識を高める（園内研修年6回…保育映像の視聴、事例検討会）。
重点的に取り組んでいきたい事項-3	保護者と子どもの育ちを共有し、健やかな成長を支える。
具体的な取り組み	
項目	具体的な内容
(1) 園生活や行事の様子、子どもの姿を保護者に積極的に発信する。	園だより、クラスだより、ドキュメンテーションの配信、保育参観、行事などを通して子どもの姿と受け止め、保育の意図を伝えて共通理解を図る。
(2) 保護者との対話を大切に、子育ての喜びを感じられるようにする。	年間を通じて個人面談、トークタイム（毎週木曜）を実施し、子どもの育ちについて語り合う時間を増やす。